

「平成最大の大会選手から学ぶこと」

4月1日新元号「令和」が発表されました。

人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ。

梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように。という意味が込められているそうです。とても素敵ですね。

さて、令和の発表がある1日まではどのテレビでもよく平和がどんな年だったかという特集が組まれ連日放送されていました。

スポーツ界でいえば、やはり3月21日に引退表明をされた「イチロー」こそ平成という時代でもっとも活躍した選手と言って過言ではないかと思います。

最後の試合、8回の交代が告げられ、ライトの位置から三塁ベンチへ戻っていくときの大きな拍手に包まれ、マリナーズのチームメート一人一人と笑顔でハグを交わし、さっていく姿。中には涙を流す選手もいましたね。延長12回の激闘が終わったあと、グラウンドから選手たちが姿を消してもいつまでも席を立つ気配を見せない東京ドームのファンたちへ最後のあいさつをしに行く背番号51の姿。4万6451人の大歓声に囲まれ、手を振り声援にこたえる姿。そして日をまたいで1時間23分にわたって行われた引退会見に本人もびっくりするほどの人数が集まっていました。

今回の手紙はイチロー選手の引退会見から僕が感じたことを皆さんにお伝えできたらと思います。

「どうやったらこんなにすごい人になれるのだろうか？」僕の一番思うのはやっぱりここです。よっぽど野球が好きで、野球が楽しくなければ28年もの間の毎日の厳しい練習に耐えたりできないよなーと思うのですが、それは半分正解で半分はずれなのだと引退会見で知りました。

「子供のころからプロ野球選手になることが夢で、それが叶って、最初の2年、一軍と二軍を行ったり来たり、そういう状態でやっている野球は楽しかったんですよ。1994年、3年目ですね。扇監督と出会って、レギュラーで初めて使っていただいたわけですけど、この年まででしたね、楽しかったのは。そのあとは、急に番付を上げられちゃって、一気に。

それはしんどかったです。もちろんやりがいがあって、達成感を味わうこと、満足感を味わうことはたくさんありました。ただ、楽しいかっていうと、それはまた違うんですよね。1打席1打席立つことは簡単ではない、だからすごい疲れました。」と言ったんですね。

しかしみんなならすごい疲れることを、ずーっとやり続けられますか？しかもイチロー選手の場合は同じことを繰り返すだけでなく常に変化を模索しながら続けていくんです。

引退会見ではこんな質問もありました。

記者の質問「イチロー選手が貫いたもの、貫けた者は何でしょうか？」に対して

イチロー 「野球を愛したことだと思います。これが変わることはなかったですね」と答えたんです。彼の全ての動力は野球愛だったんですね。今年の会長月特別アシスタントに就任した際も、試合にはでれなくなるものの僕は野球の研究者でいたいと言っていました。

どんなにプレッシャーがありしんどくても、とにかく野球をやるのが好きだったんですね。そして好きだからこそもっとうまくなりたいを続けてきた。

記録を更新し続けられた背景に関しても引退会見でイチロー選手は「自分の限界を見ながら、ちょっと超えていくということを繰り返していく。そうすると、いつの日からかこんな自分になっているんだ、という状態になって。だから少しずつの積み重ね、それでしか自分を超えていけない」と言っています。

この引退会見から僕たちが学ぶべきことも沢山あると思いました。 **Cocorodining** は人のためになるつよくやさしい会社造りを目指しています。やっぱり人のためになるって最高に誇り高いし、なれた時嬉しいじゃないですか！ しかし、簡単でないということも知っています。より人のためになりたいなら、自分自身ももっと成長する必要があるんです。

だから毎日長い時間を働きながらも、昨日より今日、今日より明日で成長していかなければいけない。簡単ではないと思います。でも諦めず、目の前の一つ一つを大切に積み上げて欲しい。

僕は最近よく「イチ」の積み重ねの話をしてます。3歳から野球をはじめ、小学校3年から本格的に野球を始めた少年が、きちんとちゃんとイチを積み重ねればここまで大きな存在になれるのだと教えてくれました。夢がまだまだ広がりました。

ありがとうイチロー選手！！

イチロー選手の履歴（抜粋）

■平成4年～平成12年 日本プロ野球

■平成13年～平成31年3月 メジャーリーグ

主な表彰と記録、多すぎて書ききれないので抜粋

■日本記録

・7年連続ベストナイン・7年連続ゴールデングラブ賞

・首位打者7度・7年連続首位打者・3年連続シーズンMVP・6年連続満塁本塁打 etc

■メジャー記録

・新人王・10年連続ゴールデングラブ賞・シーズン最多安打262本※メジャーリーグ歴

代1位・10年連続200安打以上・5年連続両リーグ最多安打・1シーズン連続盗塁記録

45回※メジャーリーグ歴代2位・メジャー3089安打※歴代24位

■日米通算

・4257安打 ※日米通算だと歴代1位

2019. 3. 1 松岡 保浩